

やる気発生装置

受験の山を乗り越えて&変化の兆し

きょう7日、公立高校の中期選抜と、大学入試に行っている子が1人います。受験当日の朝、そろそろ試験が始まっているかなという頃に、これを書いております。このところずっと午前中に冷たい雨が降っていることが多くて、今朝も少し雪交じりのような小雨です。長い高校入試を乗り越えてきた中3生が今日これを読むのかどうか分かりませんが、きょうの午後、試験が終わったあとの達成感、解放感はいかばかりかと思えます。僕の高校入試はもう30年以上も前のことになりますが、会場だった北稜高校を出た帰り、風が心地よかったこと、日差しが暖かったことを今でもよく覚えています。受験生たちが帰路につくころには、天気が回復して日差しが戻ってきてくれることを願いたいです。本当に、お疲れ様でした。人生のかかった勝負のときに、少しでも関わったことを感謝しています。これから広がっていく世界に思いをはせつつ、残りわずかな中学校生活を楽しんでほしいと思います。

高校の環境も変化せざるを得なくなっているようです。きのう流れてきた速報記事によれば、新入生が6学級(240人程度)に満たない府立高校について再編を考えていく、という教育委員会の方針が出たそうです。全てではないはずですが、生徒数が確保できない学校の統合などが行われることでしょう。まさに今日受験に行っている高校に入学して、5~6年後にはその学校が無くなっている可能性もあるわけです。こんなタイミングで発表しなくても、とは思いましたね。僕などやはり保守的な人間で変化にさらされるのは苦手ですので、物事を変える、今まであったものが無くなるというついで物申したくなるのですが、このご時世です。新しいものを生み出していくためには、何らかの変化は避けられないのかなという気もします。教育というものは、新しい世代によってもっと良い世界が作られるという希望の営みです。どういう形になるにせよ、学校は希望を生む場であってほしいし、そうでなくてはけません。塾も、学校とは立場や性質は異なりますが、その本質は新たな世代に託する希望だと思えます。それを実現するために、変わるべきことはしっかりと方向性を見定めて変わっていく必要があります。知り合いの先生の塾にも、この春大きくその形態を変えるところがあるようです。いろいろな可能性を探りつつ、僕も勉強していきたいです。



きょうの京都、屋には雨は上がりましたが、あいにくの曇り空と寒風です。でも、受験生にはきっと春がやってくることでしょ。



受験生を迎える側の学校にしても、時代の変化に晒されることは避けられません。塾もまた、その役割を果たす道を模索します。

当面の教室予定

3/7(金)~3/8(土)

16:00~22:00

3/9(日)

16:00~21:00

3/10(月)

★早朝学習会あります★

7:00~8:10

16:00~22:00

3/11(火)~3/13(木)

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。

来週3/10(月)のテスト

学校/学年	教科
北稜 1	生基/保健